

# 令和3年度 事務事業の外部評価



- 日時  
令和3年10月27日（水）午後2時～午後3時20分
- 会場  
日進市中央福祉センター2階 多機能室北

**日進市**

# 目次

<b>傍聴される皆さまへ</b>	<b>… 1</b>
<b>事務事業の外部評価の概要</b>	<b>… 2</b>
<b>下水道事業～下水道管路建設事業～</b>	<b>… 7</b>

## 傍聴される皆さまへ

- 1 傍聴はお静かにお願いします。会場の出入りは自由となっておりますが、審議の妨げにならないようにお願いします。
- 2 限られた時間内で円滑に進行させるため、係員の誘導・指示があった場合は従ってください。
- 3 傍聴者からのご意見やご質問は、受け付けられません。
- 4 内容に対する賛成・反対の表明、拍手はしないでください。
- 5 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。
- 6 会場での録画・録音及び撮影については、ご遠慮ください。
- 7 手荷物・貴重品などの管理は、各自でお願いします。
- 8 会場内でのお食事は、ご遠慮ください。
- 9 新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用や消毒等のご協力をお願いいたします。
- 10 その他、審議の妨げになる行為はしないでください。

※以上の事項に違反された場合は、退場していただくことがあります。

### ※アンケートのご協力について

今後の取組の参考とさせていただくため、アンケート用紙にご意見・ご感想をご記入いただき、お帰りの際に受付の回収箱へ投函してください。

以上、ご協力をお願いします。

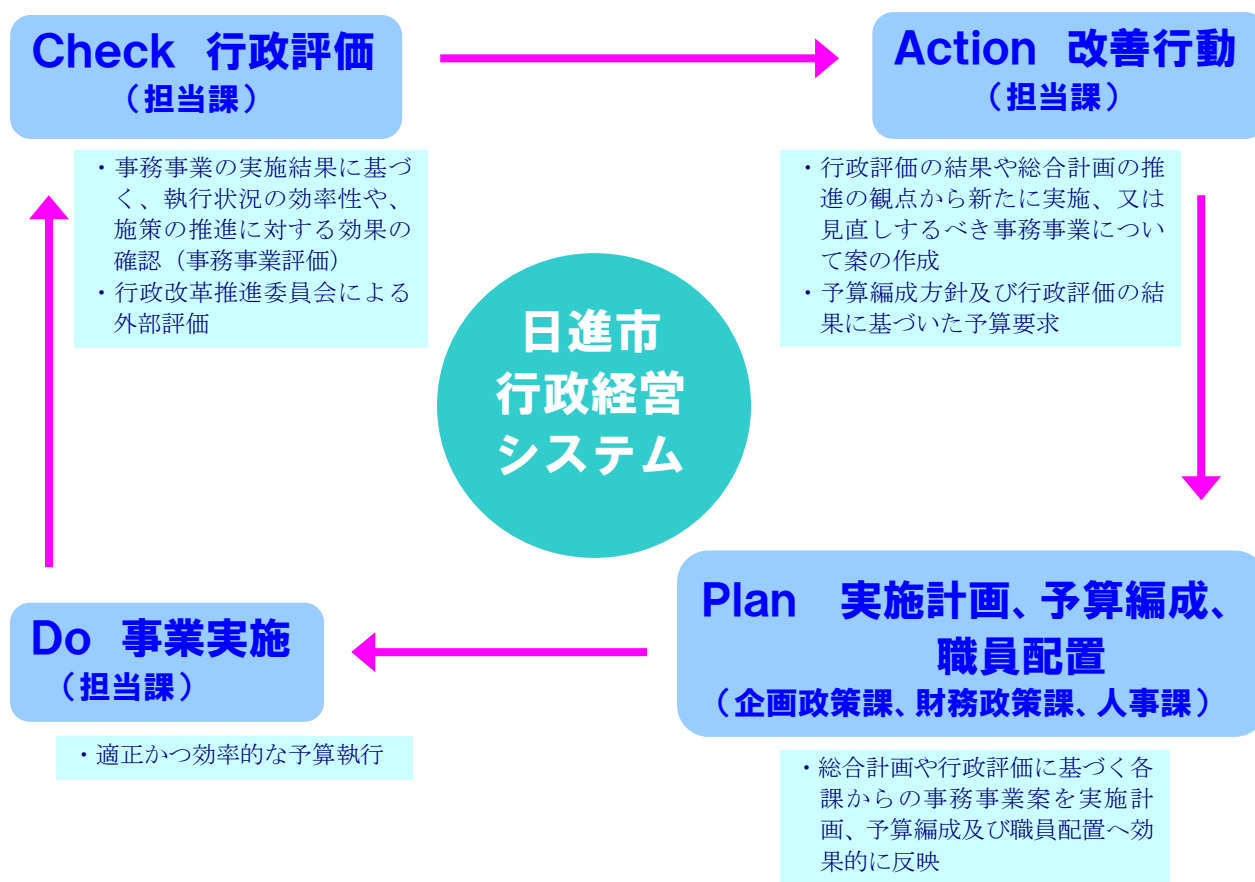
# 令和3年度事務事業の外部評価の概要

## 1 趣旨

本市では、日進市自治基本条例第25条において、「市民参加のもとに行政評価を実施し、その結果を市政の運営に反映」させることを規定しています。

そこで、市民に対する説明責任の実現、事務事業の見直し、業務改善、職員の意識改革を主な目的として事務事業の評価（内部評価）を行い、その結果を公表し、市民ニーズへの対応や業務の効率化を進めています。

さらに、外部からの視点を事務事業の評価に取り入れ、第三者的な視点により、評価の透明性や客観性を向上させ、総合計画における実施計画や予算との連動性を高めるため、日進市行政改革推進委員会による事務事業の外部評価を実施しています。



## 2 評価スケジュール

時間	事務事業等	所管課
14:00～14:10	あいさつ・事務局説明	
14:10～15:20	下水道事業～下水道管路建設事業～	下水道課

## 3 評価体制等

### ■評価体制

評価員（日進市行政改革推進委員会委員）による評価

### ■説明者

原則として事務事業所管課長（その他説明補助担当者等）

### ■傍聴

10名程度

## 4 評価の流れ

### ■評価時間

1事務事業あたり 約70分



20分程度	45分程度	5分程度
資料に基づき、所管課から概要（目的、内容、成果、課題など）の説明	評価員から所管課に対して、目的の是非、達成手段の妥当性、効果、有効性などについての質疑と意見	意見をまとめ、総括

## 5 事務事業の選定方法

各部に外部評価対象の事務事業の照会を行い、**選定の視点**を踏まえ、**行政評価と予算の連動性を高める**ために企画政策課及び財務政策課の合同で、令和3年度事務事業の外部評価の候補を選定します。

なお、令和元年度に予算の組み替えを行ったことにより、評価単位が中事業となりました。それ以前に事務事業としていたものよりも、事業一つ一つの単位が大きくなり、含まれる業務の幅が広がったことから、令和2年度からテーマ型評価を行わないこととしています。

### ◆選定の視点

- ①他の活動内容や成果内容と重複している可能性があるもの
- ②民間や国・県でも同様に行っている可能性があるもの
- ③他自治体と比較してサービスが過大となっているもの
- ④外部（第三者）の視点から意見を受けるべきと考えるもの

### 【事務事業選定】

**事務事業選定の基準**に該当する事務事業の中から、外部評価を行うことが有効と考えられるものについて、各部とのヒアリングを実施して候補とします。

#### ●事務事業選定の基準（下記の条件を原則すべて満たすもの）

- (1) 予算規模が5,000千円以上の事務事業
- (2) 開始から3年以上経過し、令和2年度以降も継続して実施する事務事業



日進市行政改革推進本部会議で「**下水道事業～下水道管路建設事業～**」を令和3年度事務事業の外部評価の実施事務事業と決定します。

## 6 評価結果の活用について

外部評価の結果が市の最終判断となるものではありませんが、議論の内容、いただいたご意見やご感想を踏まえて、所管課において内容検討を行い、実施計画や予算等へ反映することで、事務事業の改善を進めます。

(調整用ページ)



**下水道事業**  
**～下水道管路建設事業～**  
**(下水道課)**

(調整用ページ)

# 令和02年度日進市事務事業評価シート

<b>担当部等</b>		都市整備部		<b>担当課等</b>		下水道課		
<b>総合計画</b>		<b>コード</b>	<b>名 称</b>	<b>予算科目</b>	<b>コード</b>	<b>名 称</b>		
	<b>基本目標</b>	3	快適で利便性の高い持続可能な都市づくり		<b>会計</b>		下水道事業会計	
	<b>節</b>	3	住環境の整備		<b>款</b>	1	資本的支出（資本的支出）	
	<b>大施策</b>	4	上・下水道		<b>項</b>	1	建設改良費	
	<b>中施策</b>	1	下水道の計画的な整備と適正管理		<b>目</b>	1	管路建設費	
	<b>小施策</b>	2	計画的な下水道整備の推進					
<b>根拠法令・条例等</b>		下水道法、日進市下水道条例						
<b>基本計画等</b>		日進市公共下水道事業計画						

## 1 事業概要「PLAN（計画）」

<b>事務事業の概要</b>	下水道管渠等の整備を行う。
<b>対象</b>	公共下水道事業計画区域
<b>意図（目的）</b>	下水道を整備することで供用開始区域を拡大し、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。
<b>手段</b>	公共下水道の普及率を高めるため、下水道事業計画に基づき、下水道管を整備する。また、下水道管を敷設した翌年度に道路舗装本復旧を行う。

## 2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）		R2予算額	R2決算額	R3予算額
			265,022	239,727
<b>財源内訳</b>	<b>特定財源</b>			
	<b>国庫支出金</b>	61,175	53,150	50,609
	<b>県支出金</b>			
	<b>地方債</b>	110,200	87,500	121,000
	<b>その他</b>	31,627	35,840	58,652
	<b>一般財源</b>	62,020	63,237	118,312
<b>総事業費（千円）</b>		265,022	239,727	348,573

# 令和02年度日進市事務事業評価シート

○令和2年度に記載した具体的な改善内容

令和2年度に実施する具体的な改善内容	
今後(1~3年以内)実施可能な改善内容	
令和2年度に取り組んだこと	赤池地区、藤枝地区において、公共下水道污水管渠埋設工事を施工した。また、昨年度に管路整備を行った赤池地区、東山地区の道路舗装復旧工事を施工した。
成果	事業計画に沿って整備を行うことで、下水道普及率が77.3%から77.5%に上昇した。
課題	令和8年度末までに汚水処理人口普及率95%以上を目指すために、整備手法や整備区域の見直しに向けた検討が必要になる。

### 3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	C	一部改善が必要	前年度評価結果	
評価の理由	公共下水道供用開始区域の拡大に伴い、毎年着実に下水道普及率が向上しているが、令和8年度末までの汚水処理人口普及率95%以上を目指すためには整備手法や整備区域の見直しの検討等の一部改善が必要となる。			

### 4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和3年度に実施する具体的な改善内容	国庫補助の確保及び企業債の活用を図りながら、計画的な事業の進捗に努めるとともに、汚水処理人口普及率95%以上を目指すための方向性を検討する。				
今後の方向性	成果	○ 拡充	● 維持	○ 縮小	○ 休廃止
	コスト投入	○ 拡大	● 維持	○ 縮小	○ 休廃止
今後(1~3年以内)実施可能な改善内容	財政部局や環境部局と協議を行い、下水道以外での汚水処理施設概成の方向性を検証する。				

#### 【アウトプット指標】

指標名	供用開始面積（単年度）	単位	ha
指標データ	R2年度		R3年度
	目標	実績	目標
	25.00	25.42	2.90

#### 【アウトカム指標】

指標名	河川水質（BOD値）	単位	mg/l
指標データ	R2年度		R3年度
	目標	実績	目標
	5.0	3.0	5.0
式	BOD(生物化学的酸素要求量)とは、生物が水中にある有機物を分解するのに必要とする酸素の量(mg/l)を表す指標であり、河川の汚染度が進むほど値は高くなる。		
指標の狙い	下水道普及に伴う水質改善による生活環境の向上を目指すため。		

# 令和02年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標2】

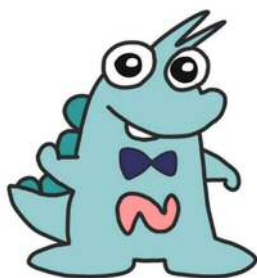
指標名	汚水処理人口普及率	単位	%	
指標データ		R2年度		R3年度
		目標	実績	目標
		91.5	91.4	92.3

(調整用ページ)

令和3年度事務事業の外部評価（事務事業型）

## 下水道事業

～下水道管路建設事業～



担当部課：都市整備部 下水道課

令和3年10月27日

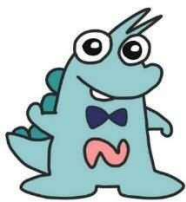
1

### 【目次】

- 第1 はじめに
- 第2 事業の概要
- 第3 他市との比較
- 第4 下水道事業を取り巻く現状
- 第5 事業の課題
- 第6 今後の取組案
- 第7 おわりに

2

# 第1 はじめに



3

## はじめに(なぜ、この事業を選択したか)



日進市では、汚水処理人口普及率が2021年4月1日時点で91.4%となっており、愛知県の汚水処理人口普及率目標値である95%に対して低い状況です。

★汚水処理人口普及率とは  
下水道・農業集落排水施設・団地の集中浄化槽を利用できる人口に、合併処理浄化槽を利用している人口を加えた値を、行政人口で除した「汚水処理施設の普及状況」を示す指標です。

4



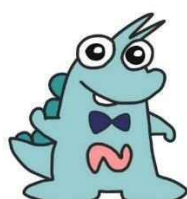


日進市の下水道管渠整備としては、市街化区域の整備がほぼ終わった中で、既整備区域から離れた市街化調整区域の汚水処理をどのようにしていくかが課題となっています。

今後、汚水処理人口普及率を増加させるために、限られた財源等の中で、どのように整備を行っていくか、この事業に対し外部からの意見をいただきたいと思います。

5

## 第2 事業の概要



6

# 施策体系



## 第5次日進市総合計画における位置づけ

### ◆基本目標3 快適で利便性の高い持続可能な都市づくり

第3節 住環境の整備

大施策 上・下水道

中施策 下水道の計画的な整備と適正管理

小施策 計画的な下水道整備の推進

下水道管渠整備を進めることで、市内の環境改善を推進し、より良い生活環境を目指す。

7

# 事業の概要



## (1) 対象

日進市公共下水道事業計画区域内の市民

## (2) 内容

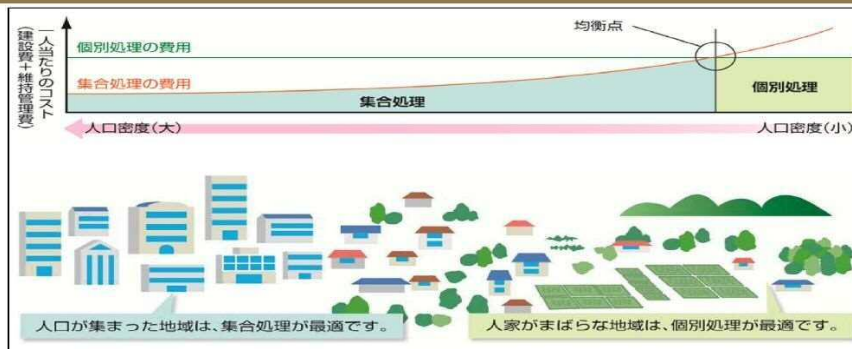
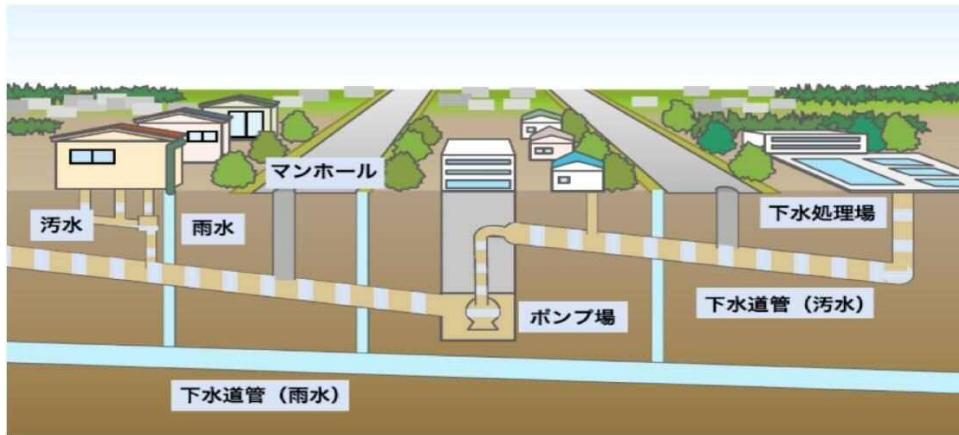
公共下水道の普及率を高めるため、下水道事業計画に基づき下水道管渠を整備する。

### (目的)

下水道を整備することで供用開始区域を拡大し、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

8

# 下水道事業全体のイメージ



9

# 下水道事業費(事業全体)



年度	収 入 ( 千 円 )						計
	下水道使用料	一般会計繰入金	国庫補助金	企業債	環境部局負担金(※1)	その他(※2)	
H30	770,157 (33.0%)	710,615 (30.5%)	205,840 (8.8%)	465,500 (20.0%)	0 (0.0%)	180,067 (7.7%)	<b>2,332,179</b>
R1	711,145 (30.5%)	717,939 (30.8%)	348,300 (14.9%)	338,000 (14.5%)	53,025 (2.3%)	162,130 (7.0%)	<b>2,330,539</b>
R2	836,189 (33.7%)	701,944 (28.3%)	420,615 (17.0%)	168,500 (6.8%)	301,688 (12.2%)	51,477 (2.1%)	<b>2,480,413</b>

- ※1 令和元年度から施工している浄化槽等汚泥受入施設建設に係る日進市・東郷町・長久手市それぞれの環境部局の負担金
- ※2 『その他』の主な項目としては、「取付管工事費負担金」(※3)、「繰越金」、「区域外汚水処理受入金」(※4)等
- ※3 下水道接続を希望する方が、市に取付管工事を依頼する際に納入する工事費用
- ※4 近隣自治体から日進市に流入している汚水の処理費用に係る分担金

年度	支 出 ( 千 円 )						計
	処理場建設費	管路建設費	処理場維持管理費	管路改良費	企業債償還	その他(※5)	
H30	19,860 (0.9%)	781,251 (35.0%)	350,214 (15.7%)	100,795 (4.5%)	497,243 (22.3%)	479,701 (21.5%)	<b>2,229,064</b>
R1	108,000 (4.9%)	465,651 (21.2%)	375,153 (17.1%)	242,009 (11.0%)	692,671 (31.6%)	308,482 (14.1%)	<b>2,191,966</b>
R2	677,400 (28.1%)	239,726 (10.0%)	417,353 (17.3%)	96,577 (4.0%)	574,251 (23.9%)	402,319 (16.7%)	<b>2,407,626</b>

- ※5 『その他』の主な項目としては、「下水道使用料徴収事務負担金」(※6)、「汚水処理委託事業費」(※7)、「人件費」等
- ※6 下水道料金の徴収事務を、上水道を所管する愛知中部水道企業団に委託した費用
- ※7 日進市から近隣自治体に流出している汚水の処理を委託した費用

10

# 事業の経緯



年度	取組状況
昭和57年	日進町（当時）公共下水道基本計画を策定 下水排除方式を分流式とし、単独公共下水道（北部処理区、南部処理区）を定める
昭和59年～	北部処理区の第一期事業認可を受け、事業に着手
平成元年～	北部処理区（北部浄化センター）供用開始
平成2年～	南部処理区梅森地区の処理委託について名古屋市と合意
平成10年～	南部処理区の第一期事業認可を受け、事業に着手
平成16年～	南部処理区（南部浄化センター）供用開始

11

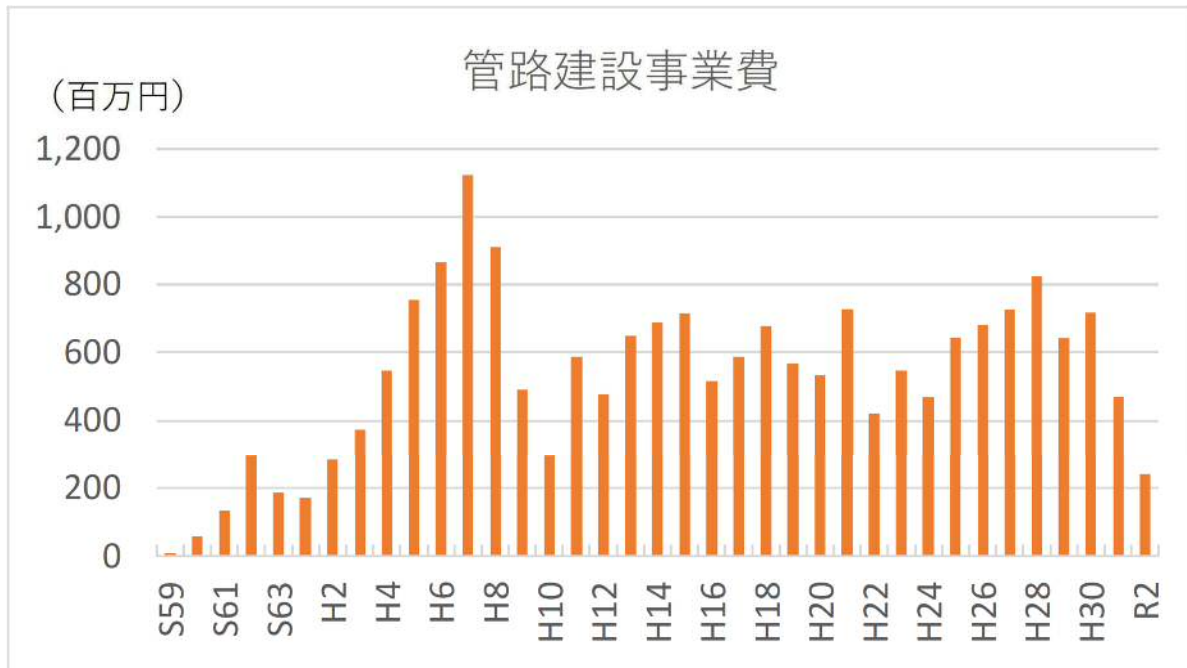
# 管路建設事業費（予算・決算額）



◆主な内訳（予算額）		◆主な内訳（決算額）	
令和3年度	349百万円		
うち国庫補助金	51百万円		
令和2年度	266百万円	令和2年度	240百万円
うち国庫補助金	62百万円	うち国庫補助金	54百万円
令和元年度	483百万円	令和元年度	466百万円
うち国庫補助金	103百万円	うち国庫補助金	103百万円

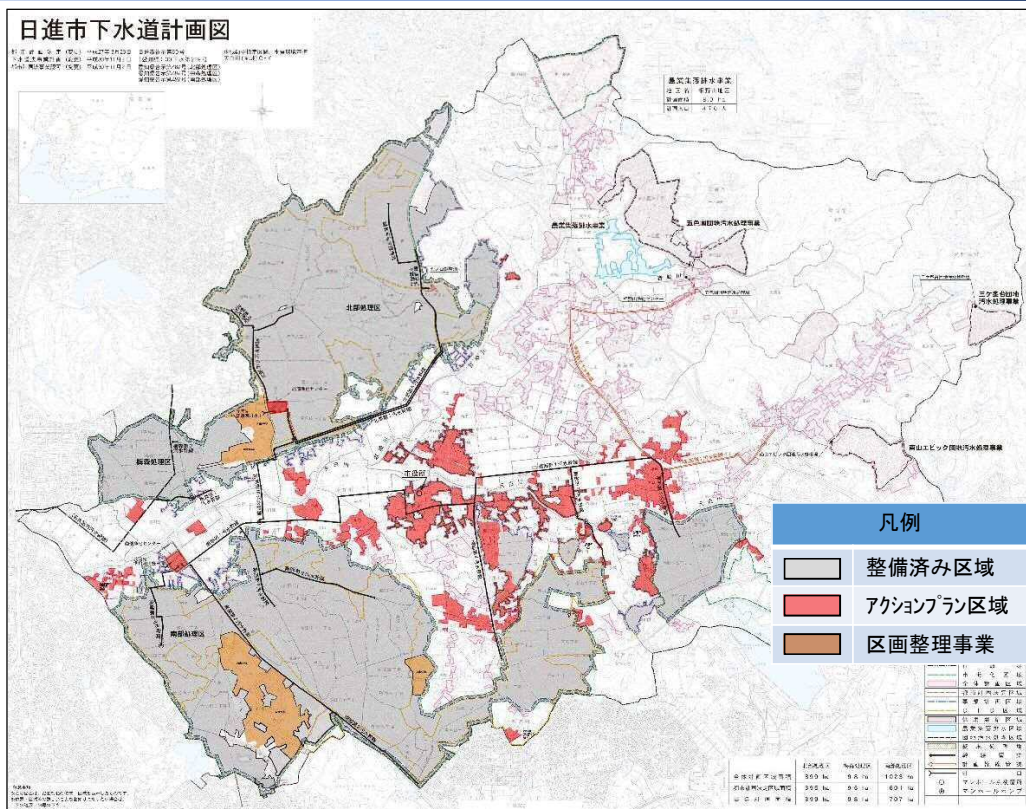
12

# 管路建設事業費の推移



13

# 事業区域



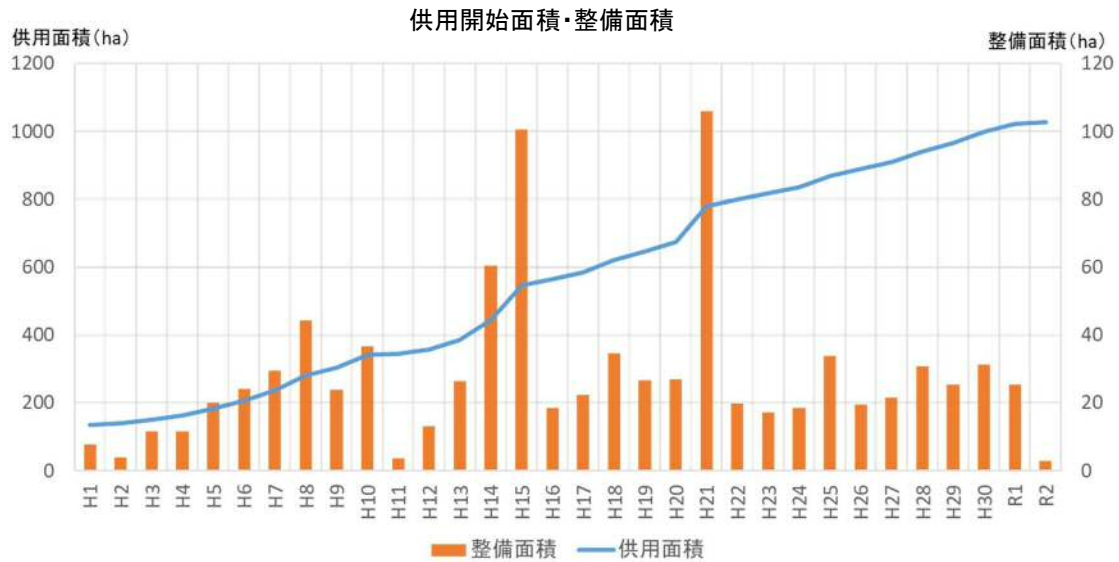
14

# アウトプット指標①



## ◆指標 供用開始面積

年度毎の下水道管渠整備状況を把握するため指標としたもの



15

# アウトプット指標②



## ◆指標 汚水処理人口普及率

下水道管渠整備による下水道普及向上度合いを把握するため指標としたもの



16

# アウトカム指標①



## ◆指標 河川水質 (BOD)

下水道整備に伴う水質改善による生活環境の改善度を把握するため指標としたもの



★BOD(生物化学的酸素要求量)  
生物が水中にある有機物を分解するのに必要とする酸素の量(mg/l)を表しています。  
河川の汚染度が進むほど、この値は高くなります。

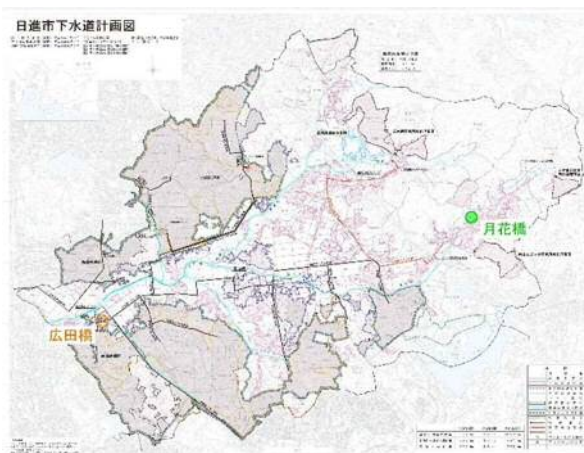
日進市の最下流である「新大正橋」における水質値の推移から、下水道整備が河川環境に良い影響(水質改善)を与えていることがわかる

# アウトカム指標①



## ◆指標 河川水質 (BOD)

下水道・浄化槽の違いによる河川環境負荷を把握するため指標としたもの



月花橋: 上流が下水道未整備地区(市街化調整区域) ⇒ 浄化槽が多い地域  
 広田橋: 上流が下水道既整備地区(市街化区域) ⇒ 下水道整備が完了している地域

➡ 両者の環境負荷はほとんど変わらないことがわかる

# アウトカム指標②



## ◆指標 市民意識調査

汚水処理施設整備による市民満足度を把握するため指標としたもの

	H26	H28	H30	R2
浄化槽・下水道などの衛生対策	50.9%	54.4%	51.4%	54.2%
川や池などの水質	25.0%	31.7%	31.6%	29.2%
汚水処理人口普及率	84.3%	88.9%	90.8%	91.4%

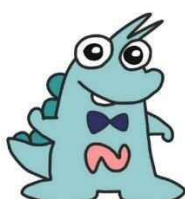
下水道整備や合併浄化槽への転換により、汚水処理人口普及率が上昇することにより、衛生対策への満足度は概ね上昇している。

一方、河川等の水質への満足度については、近年減少傾向のため改善が求められる。

➡ 汚水処理人口普及率を現況の91.4%から目標の95%に上昇させた場合に、衛生対策の満足度はさらに上昇すると推測される。  
また、河川等水質の満足度の減少を改善する施策として、宅地周辺の衛生環境の向上が一翼を担うと考えられるため、こちらにも良い影響を及ぼすと推測される。

19

## 第3 他市との比較



20



# 他市との比較



近隣市の汚水処理人口普及率(令和元年度末)

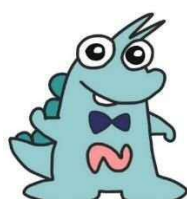
	日進市	尾張旭市	長久手市	豊明市	みよし市	県平均	全国平均
行政人口 (千人)	91.7	83.8	59.5	69.0	61.0	-	-
汚水処理人口 (千人)	83.7	76.6	58.1	59.5	60.9	-	-
汚水処理人口普及率 (%)	91.3%	91.4%	97.6%	86.2%	99.8%	91.4%	91.7%
(内訳)							
下水道普及率 (%)	77.3%	79.6%	90.1%	74.2%	79.9%	79.3%	79.7%
農業集落排水施設等 (%)	0.2%	0.0%	5.8%	6.3%	15.3%	2.0%	2.6%
コミプラ (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.1%	0.2%
合併浄化槽 (%)	13.7%	11.9%	1.7%	5.6%	1.6%	10.0%	9.3%

汚水処理人口普及率・下水道普及率ともに、愛知県平均値や全国平均値を下回っている状況です。また、近隣では長久手市及びみよし市は汚水処理施設が概成しています。

愛知県や近隣市と比較して、日進市は合併浄化槽の比率が比較的高いと言えます。

21

## 第4 下水道事業を取り巻く現状



22

## 下水道事業を取り巻く現状①



下水道管渠整備（未普及解消）の国庫補助は令和8年度まで？

未普及解消の国庫補助について、現在は重点配分されているが、10年概成(R8まで)期限以降についての情報提供はないため、国の予算が縮小される可能性が高い。

➡ 日進市として、令和8年度末までに重点アクションプラン全域の整備は困難

23

## 下水道事業を取り巻く現状②



市街化調整区域の整備はコスパが悪い？



平成30年度に市街化区域の整備がほぼ完了した後は、整備した管渠延長に対する下水道普及率の上昇値が鈍化している。

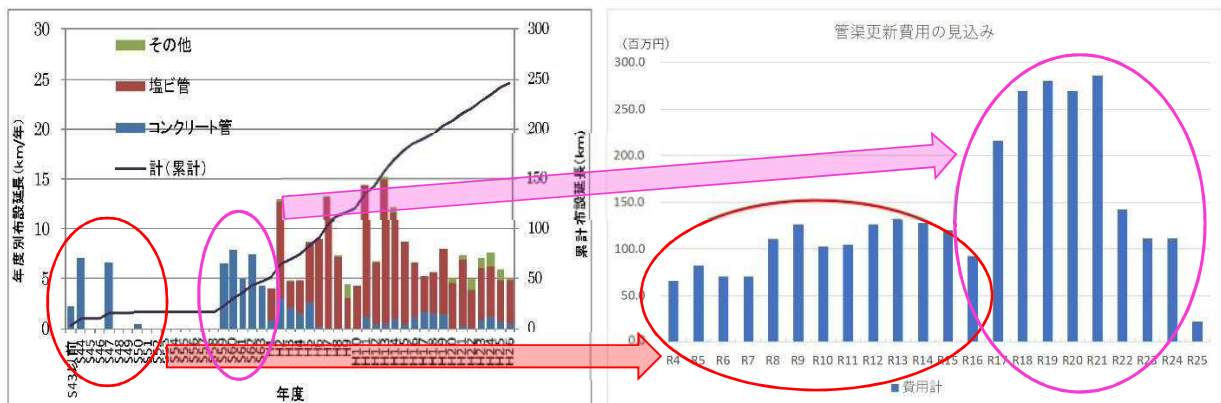
➡ 市街化区域に比べ、下水道普及率を上昇させるのに必要な整備延長が長くなる予測

24

# 下水道事業を取り巻く現状③



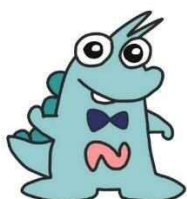
## 今後の下水道事業は維持管理の時代？



現在は、区画整理や民間開発で布設された古い管渠の改築更新を行っているが、令和17年(2035年)からは、北部処理区の改築更新が始まるため、事業費が跳ね上がる見込み。

25

## 第5 事業の課題



26

## 事業の課題①



### 【課題①】

既整備区域から離れた市街化調整区域の整備をどのように進めていくか

◎既存施設の大量更新期を迎えるに当たり、限られた財源等の中でどのような考えをもって整備を進めていくべきか

令和2年度決算

約240百万円（未普及対策費用）

27

## 事業の課題②



### 【課題②】

汚水処理施設の概成（95%以上）の目標をどのように達成させるか

◎供用開始区域外において、既に合併浄化槽の設置が約50%を占めているため、すでに半数程度は汚水処理施設が概成している中、多額の投資を必要とする下水道整備を進めていくべきか

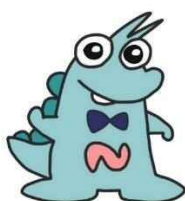
（合併浄化槽の設置状況）

供用開始区域外（2020年7月現在）

- ・合併浄化槽 2,225基（50.5%）
- ・単独浄化槽 2,180基（49.5%）

28

## 第6 今後の取組案



29

### 今後の取組案 ①-1



課題①に対して…



整備期間を検討

**【パターン1】** 短期間での整備は財政的負担  
が大きいため、年当たり事業量を再検討する

**【メリット】**

整備期間を長期に設定することで単年度での負担軽減を図ることができる。

★効果  
急激な財政への圧迫を  
回避することができる。



30

# 今後の取組案 ①-1



課題①に対して…



整備期間を検討

## 【デメリット】

整備期間が長期に渡るため、整備完了までに相当の年数を要する。

このことから、整備完了までの期間は、新規整備にも管渠更新にも費用を割く必要性が生じる。

国のアクションプラン目標年次（R8）以降においては、交付金※の確保が徐々に困難となることが想定される。

※日進市下水道重点アクションプラン期間はH28～R7であり、この期間に限り交付金の重点配分対象となる旨が国通達等で示されている。

31

# 今後の取組案 ①-2



課題①に対して…



計画区域の縮小を検討

**【パターン2】 整備期間や範囲を設定し、計画区域を縮小する。**

## 【メリット】

新規で幹線を敷設しなければならない区域を除外することで、整備費用の大幅な削減が見込める。



## ★効果

計画区域を縮小することで、下水道管渠整備を終了し、既存施設の維持管理に重点を置くことができる。

32

# 今後の取組案 ①-2



課題①に対して…

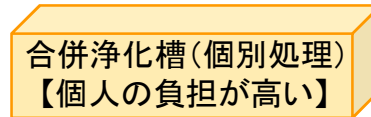
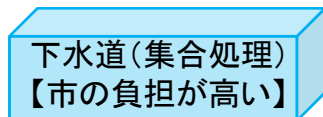


計画区域の縮小を検討

## 【デメリット】

これまでの計画を覆すことになるため、下水道を待ち望んでいた住民から反対される可能性が高い。

単に下水道計画区域の縮小のみではなく、代替措置として単独浄化槽から合併浄化槽への転換補助金の増額や拡充等の措置を検討する必要がある。



33

# 今後の取組案 ②



課題②に対して…



整備方針を検討

汚水処理施設の概成方法として下水道管渠整備以外を再検討する

アクションプラン区域外の地区の単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促進させる。

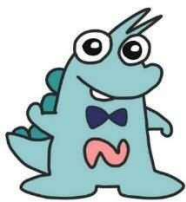
## ★効果

既に大半が汚水処理施設整備済み（合併浄化槽）の地区について、下水道整備を減らすことができる。

管渠整備費＋維持管理費 ≥ 浄化槽転換補助金

34

## 第7 おわりに



35

## おわりに



限られた財源の中で①市街化調整区域の下水道整備、②汚水処理施設の概成を実現していくために、委員の皆様からご意見をいただき、今後の下水道整備の方向性を定めていきたいと思えます。

例えば……

- ★安定的で持続可能な下水道経営に向けた  
下水道全体計画区域の縮小の是非について
- ★汚水処理施設の概成に向けた合併浄化槽への  
転換について

などについてご意見をいただけますと幸いです。

36